

チャレンジ・サザンセト！活力みなぎる農林水産業の創造

# 柳井農林水産事務所だより

発行：山口県柳井農林水産事務所  
〒742-0031  
柳井市南町三丁目9-3  
TEL 0820-25-3290(代表)  
FAX 0820-25-3297

## 「(株)ヒロノハウジング」(柳井市)が「やまぐち木の家等推進工務店」 として新たに開設されました！

やまぐちの農林水産物需要拡大協議会では、柳井・大島地域「地産・地消」推進会議と連携して、「やまぐち木の家」をはじめとする県産木材を積極的に利用した家づくりに取り組み、木材の地産・地消を推進する店舗を「やまぐち木の家等推進工務店」として開設しています。

3月26日(火)、柳井市にある「(株)ヒロノハウジング」が該当工務店として、当事務所管内では初めて開設されることとなり、看板の贈呈が行われました。



贈呈された看板



看板の贈呈



従業員の皆さん



- 「やまぐち木の家」とは  
優良県産木材等を一定基準以上利用した耐震性等住宅性能評価の高い一戸建住宅。  
県では、新築の場合、一戸当たり25万円を助成しています。  
※ 詳しくは6ページをご覧ください。

この取組は今回で4回目となりますが、今後も、県内外の多くの方に「ゆめほっぺ」を食べていただき、その魅力を知ってもらえ

まっています。  
JA山口大島の木村組合長は「せとみで糖度13.5以上など基準をクリアしたのが『ゆめほっぺ』。約一ヶ月間の販売で、多くの消費者に食べて欲しい。」とPRしました。試食した市場関係者からは「やっぱり甘くて美味しい」「今年も販売させてもらおう」等の声があり、首都圏での知名度も年々高まっています。

周防大島町は、山口県の柑きつの主力産地です。  
JA山口大島(現「JA山口県周防大島統括本部」以下同じ)は、3月9日(土)、JA選果場で本県のオリジナルかんきつ「ゆめほっぺ」の今季の初荷出發式を行い、首都圏への出荷に合わせ3月12日(火)、JA全農やまぐち、当事務所等と連携して、その魅力を県外へも広くPRするため、東京都中央卸売市場大田市場で、東京青果株や仲卸業者等を対象にお披露目会を行いました。

「やまぐちブランド」ゆめほっぺの首都圏への初出荷お披露目会を実施しました

るよう取組を進めていきます。



「ゆめほっぺ」初荷出発式



「ゆめほっぺ」お披露目会

「柳井の花」展示会in周東総合病院く花農家からのフラワーバレンタインを開催しました

2月11日(月)から14日(木)まで、柳井市の周東総合病院で「花農家からのフラワーバレンタイン」

ン」と題して、「柳井の花」の展示PRを行いました。

今年で3回目となるこの催しは、住民の方に花に親しんでもらい、消費拡大につなげようと柳井花卉生産組合が主催したもので、病院内ロビーを生産者が栽培した「柳井の花」で装飾・展示しました。また、メインとなる中央の花の装飾は、販売協力専門店の「くにきよ園芸」が制作しました。初日の11日には、入院患者の方お二人に柳井花卉生産組合の西本組合長からバラの花束の贈呈が行われ、来場者50名へも生産者からバラの花束が配布されました。



生産者によるバラの花束の配布

当事務所では、今後もこうした取組を支援し、花の需要拡大に取り組んでいくこととしています。



「くにきよ園芸」による花の装飾

柑きつ冷蔵貯蔵庫が整備されました

JA山口大島におけるかんきつ類の出荷は、9月の極早生温州みかんに始まり、3月の「せとみ(ゆめほっぺ)」、5月の「南津海」までおよそ8ヶ月間の長期間にわたります。

特に、山口県オリジナルかんきつ「せとみ」については、良食味であることから、市場から高い評価を得ています。

周防大島町では「せとみ」の面積が増加しており、今後の成木化に伴って生産量の増加が予想されます。そのため、出荷ピークの平準化と鮮度保持の向上を目的

として、JA山口大島に平成30年3月、最大貯蔵量約60tの冷蔵貯蔵施設が整備されました。その後、当事務所では、施設の稼働時の温湿度の推移や果実品質を確認しました。今後、この冷蔵貯蔵施設を活用して、これまでの3月中旬から4月上旬までの出荷期間を6月まで拡大する計画です。冷蔵貯蔵したゆめほっぺ(せとみ)は、周防大島町内のJA直売所「島の恵み」を中心に販売される予定です。ぜひ、ご賞味下さい。



JA山口大島が整備した冷蔵貯蔵施設





平成30年12月12日(水)、JANA南すおう本所(現「JA山口県南すおう統括本部」)において、アグリ南すおう(株)により、法人就業に向けて研修を行っている研修生2名の報告会が行われました。

若い2名の研修生がアスパラガスの栽培や農業機械の技能習得等の状況について説明し、研修中に苦労したことや、就農に向けた今後の抱負、目標を発表しました。参加した法人や関係機関の担

アグリ南すおう株で研修生の報告会と(農)ファーム・おだ(広島県)による先進事例講演会を開催しました



鮮度保持資材で個包装した「ゆめほっぺ」



研修生報告会の様子

当者は熱心に研修生の報告を聞いていました。

また、報告会に続いて、集落営農の先進事例として、広島県の(農)ファーム・おだの吉弘昌昭顧問理事による講演会が行われました。

講演会では、法人における作業日程や労力配分の調整方法、地域づくり活動との連携のあり方等、具体的な事例を交えた報告がありました。会場からは農地の集積状況や、後継者の育成、畦畔の管理方法などについて多くの質問がありました。

今後とも、このような講演会等を通じて法人経営の強化を関係機関と連携して推進することとしています。

「エコやまぐち農産物」取り組んでみませんか!

山口県では平成14年から、化学肥料・化学農薬を50%以下に削減した農産物を認証する「エコやまぐち農産物認証制度」の取組みを推進しています。

認証制度には化学肥料及び化学農薬を慣行栽培方法の50%以下に削減した「エコ50」と化学肥料及び化学農薬を使用しない「エコ100」があります。

認証にあたっては、申請される生産者の方に以下の取り組みが求められます。

- ① 農産物確認責任者を確保し、化学農薬、化学肥料削減の計画と実施の確認を行ってもらうこと。
- ② ほ場へ、エコやまぐち農産物の生産に取り組んでいる旨の看板を設置すること。
- ③ 店頭に陳列した農産物へ、特別栽培農産物としての表示をする。

現在、当事務所管内では30人の方が水稲、アスパラガス、タマネギ等の作物でエコやまぐち農産物の生産に取り組んでいます。皆さんもエコやまぐち農産物



エコ50の認証を受けた南すおう産のアスパラガス

田布施町の西山・潤田地区で鳥獣害防止柵を設置しています

国営緊急農地再編整備事業南周防地区で整備されたほ場に鳥獣害防止柵(フェンス式)を設置しています。柵の設置で、イノシシによる被害がなくなることが期待されています。

鳥獣害防止柵には、フェンス式以外に、ワイヤーメッシュ式や、手軽に設置できる電気柵などが

の生産に取り組んでみませんか。

◆問い合わせ先

- ・県農業振興課農業技術班 (☎0833-9333-3366)
- ・柳井農林水産事務所農業部 (☎08220-2513292)



西山・潤田地区

ありますが、扉の閉め忘れ、倒木等による柵の破損、電気柵の電池切れや、漏電等により、イノシシが容易に侵入してきます。このため、設置後の見回り、点検が非常に重要となります。

地域の状況や設置する労力の有無により、設置する方法が変わってきます。鳥獣被害で困られた方は、農林水産事務所やお住まいの市町担当課へ相談してください。

梅雨時期の6月頃から台風時期が終わる10月頃にかけての出水期には、全国で毎年のように水害が起こっています。山口県でも豪雨や台風により多くの被害が発生しています。

**梅雨入り前にため池の点検をお願いします**



鳥獣防止柵



鳥獣防止柵の設置状況

昨年発生した平成30年7月豪雨災害では、西日本を中心に農業用ため池の被害も発生し、下流に大きな被害を与えることとなりました。

そうした中、県では毎年、農業用ため池による被害の未然防止を図るため、「危険ため池等点検パトロール」を行っています。「危険ため池」及び「老朽化が確認されているため池」について、5月上旬から中旬にかけて「点検パトロール」を実施し、ため池の施設の状況を把握し、対策の必要性や管理の適正化をため池管理者と確認します。

ため池がひとたび決壊すると下流へ広範囲に被害が発生することから、梅雨入り前にはため池の点検を必ず実施するよう、お願いします。

同様に、近年使用していないため池であっても貯水があれば、管理が行われずに危険な状況となっている場合がありますので現地を点検して下さい。

ため池に関するご相談は、市町農業農村整備担当課もしくは柳井農林水産事務所農村整備部農地活用課(☎0820012513294)にご相談下さい。

牛飼養農家には、子牛を産ませて家畜市場で販売する繁殖農家と、その子牛を購入して肥育し肉牛として販売する肥育農家、子牛を生産して肥育する一貫農家があります。いずれも子牛が生まれてくるといことが最低条件であり、且つその子牛が元気であることが何より望まれることです。

しかし、牛には母牛が妊娠中に感染すると流産や死産、奇形等を引き起こすウイルスが存在します。これらは吸血昆虫の中に潜み、暖かくなると大陸からジェット気流に乗って日本にやってきます。そこで必要となってくるの

**元気な子牛を産むためのワクチン接種について**



取水施設の点検状況



が、感染を防ぐための手段であるワクチンです。

畜産部では、吸血昆虫活動前の春期に、流産や奇形等の異常産を引き起こすウイルスに効果のある「異常産4種混合ワクチン」の母牛への接種を推進しています。これからも、ワクチン接種の推進や飼養衛生管理指導等を通じて、畜産の振興に貢献していきます。



ワクチン接種をしましょう!

**耕作放棄地放牧(山口型放牧)を利用して農地を守りませんか**

当事務所管内は中山間地域が多く、また、農家の高齢化、担い手不足や農産物価格の低迷等により耕作の継続を断念する人が増え、耕作放棄地が年々増加しています。

一方、山口型放牧とは生産条件が不利な水田や耕作放棄地などを電気牧柵で囲い、牛を放牧する方法です。耕作放棄地の雑草を牛に食べてもらうことにより、重労働である草刈から解放されます。

さらに、景観保全はもとよりその後の農地復元や隣接する農地の獣害被害低減効果も認められています。

放牧に必要な電気牧柵は設置指導に伺います。また、牛は放牧に慣れた牛を畜産農家や県畜産試験場から斡旋し、現地まで運搬します。山口型放牧に興味のある方は柳井農林水産事務所畜産部(☎0820-12212416)まで気軽に相談ください。



放牧前



放牧後

**第24回中国・四国ブロック林業コンクールにおいて「柳井ふれあい森の会」が「全国林業研究グループ連絡協議会長賞」を受賞しました**

平成30年12月4日(水)、広島市において、「中国・四国ブロック林業グループコンクール」が開催され、柳井市日積を拠点とする林業研究グループ「柳井ふれあい森の会」が「全国林業研究グループ連絡協議会長賞」を受賞しました。

当会は、平成18年1月29日に設立され、山重会長を中心とし、会員数32名で、竹林の伐採、里山再生、森林環境教育、都市住民

との交流等を主な活動としています。

本コンクールは、中四国地区の林業研究グループが日ごろの活動や研究内容を発表し、相互の発展と資質の向上を図ることを目的に、全国や県の林研グループ連絡協議会等の主催で毎年開催されています。

当日は約70名が参加し、各地域の熱心な取組が紹介されました。山口県からは、平成30年度「山口県林業グループ表彰」を受賞した「柳井ふれあい森の会」が代表として発表し今回の受賞となりました。



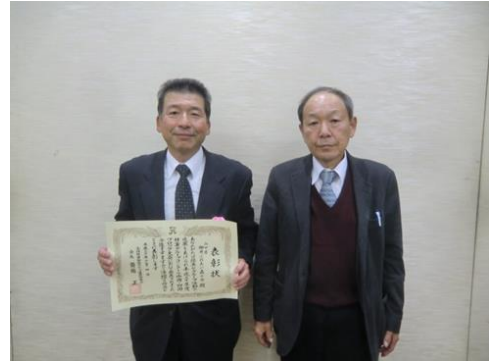
コンクールの様子



この大会に、「第65回山口県漁村青壮年女性活動実績発表大会」(1月11日(金)、下関市シーモールパレスで開催)において最優秀賞となり、山口県女性漁業者代表として選ばれた、山口県漁

第24回全国青年・女性漁業者交流大会が2月28日(木)、3月1日(金)の両日、東京都千代田区にあるホテルグランドアーク半蔵門で開催され、各都道府県代表による活動実績の発表がありました。

山口県漁協柳井支店の大野君枝さんが「全国漁業者交流大会」でJF全国漁業協会長賞を受賞しました



「柳井ふれあい森の会」山重会長(左側)



大会の様子

業協同組合柳井支店の大野君枝さんが、流通・消費拡大部門に出場し、大野水産の活動を発表しました。

大野さんは、「夢、舞って華となれ」と題して、家族4人の大野水産で、自分たちがごち網漁業で獲ったタイを加工して、チダイの一夜干し「瀬戸の舞」やマダイの南蛮漬け「瀬戸の華」を商品化したことをはじめ、鮮魚の移動販売、活魚運搬業、弁当・料理の仕出しを行っていることについて発表し、JF全国漁業協同組合連合会会長賞を受賞しました。



発表する大野さん



「やまぐち木の家」  
優良県産木材利用住宅助成について

山口県では、品質の優れた優良県産木材等を利用し、耐震性などの一定の基準を満たす住宅を新築される方に、建築費用の一部を助成します。

**助成金額** 一戸当たり25万円  
**助成要件** 優良県産木材を利用した住宅

の新築

○県内に自ら居住するための一戸建て住宅

○延べ床面積が80㎡以上

○構造材に占める優良県産木材の割合が60%以上で次のいずれかに該当

・県産板材の使用量が100㎡以上

・下地材等を加えた県産木材の使用割合が70%以上

○住宅性能表示で次の基準を満たすもの

・耐震性：耐震等級2又は免震建築物

・耐久性：劣化対策等級3

・省エネ性：断熱等性能等級4

※ 助成金を希望される方は建築工事着手前に手続きが必要となりますので、お問い合わせください。

問い合わせ窓口

県ぶちうまやまぐち推進課

住所 山口市滝町一―一

☎083-9333-3395



**狩猟免許試験について**

近年、イノシシやサル等の野生鳥獣による農林業等への被害が深刻化している一方で、狩猟者の減少等により有害鳥獣捕獲の担い手が減少していることから、新たな狩猟者の確保・育成が必要となっています。

狩猟を行うには、法律に基づく狩猟免許の取得等が必要となり、県では7月から9月にかけて免許試験を実施する予定です。

また、新たな捕獲の担い手を確保・育成し、農林業被害を軽減・防止するため、免許の取得経費の一部を助成しています。(助成の条件有)

**狩猟免許更新について**

既に狩猟免許を所持されており、その免許の有効期限が平成31年9月14日の方は、狩猟者講習及び適性検査を受けることで、免許を更新することができます。

当事務所管内では7月に柳井総合庁舎で行う予定です。

※狩猟免許試験及び狩猟免許更新の日程等については、岩国農林水産事務所森林部※森林部は柳井と兼務(☎0827-2911567)にご連絡ください。また、山口県(自然保護課)のホームページにも掲載されていますのでご覧ください。

**表彰・認定おめでとうございます!!**

平成30年11月16日(金)に山口県庁正庁会議室において、平成30年度山口県農林水産業関係表彰・認定式が開催され、当事務所管内においては、次の方々が、表彰または認定を受けられました。 ※敬称略

〈表 彰〉

- ・山口県農山村振興賞(団体) 有限会社 友進(柳井市)
- ・山口県農山村振興賞(個人) 松村 敏子(柳井市)
- ・山口県漁村優良団体・青壮年女性表彰(個人) 大野 君枝(柳井市)

〈認 定〉

- ・山口県指導漁業士 山本 祥二(平生町)
- ・山口県青年農業士 角井 雅之(周防大島町)
- ・山口県農家生活改善士 山本 初江(上関町)
- ・山口県漁村生活改善士 飯田 久美子(上関町)



今後とも、農林水産業・農山漁村の発展に向け、益々のご活躍を期待しています!!

